

購読の申し込みは  
**日本医労連へ**  
購読料 年間1,500円(送料込)  
(組合員の購読料は組合費に含む)  
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296  
郵便振替00160-6-84866  
ホームページ http://www.irouren.or.jp/  
電子メール n-ask@irouren.or.jp

# 医療労働者

1874号・1875号合併号  
2026年5月28日  
編集・発行  
**日本医療労働組合連合会**  
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5  
日本医療労働会館3階 TEL.03(3875)5871  
発行 毎月2・4木曜日  
(昭和36年9月15日第三種郵便物認可)

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る



参加者は総勢90人(島根)

島根県医労連は、県議会各会派や県健康福祉部部長など県職員も参加し、民医連共同で90人が参加する集会となり、署名宣伝行動では73筆集約しました。

石川県医労連は、5月12日に県に対して看護師確保や夜勤労働の規制・労働条件の改善を申し入れ、その後の記者会見も含めて、テレビや全国区の新聞で報道されました。

長野県医労連は、集会以「国境なき医師団」の看護師から紛争地などでの経験談を聞き、平和と看護の魅力を再確認しました。その後は初参加

者向けに動画で署名宣伝行動のイメージ学習を行い、391筆を集約しました。

三重県医労連では、津市内のスーパーマーケット敷地で署名宣伝行動を実施。「夜勤改善・大幅増員署名」と「介護保険制度の抜本改善・大幅な処遇改善を求める署名」をそれぞれ34筆ずつ集約しました。

埼玉医労連は、オリジナルの「ハラスメントトリアージ」ゲームで、ハラスメントの防止・改善方法について討議した後、署名宣伝行動を実施しました。署名



署名宣伝の様子(埼玉)

**看護**  
看護の日・看護週間の取り組みの様子を一部ご紹介します。



## 良い看護・介護を届けたいから 広がる「看護の日」「介護アクション」行動



米沢哲書記長は、パートも含めて半分以上で回答が出ていない状況は、経営者が賃上げに真摯に向き合っていない

**今後の方針提起**  
米沢哲書記長は、パートも含めて半分以上で回答が出ていない状況は、経営者が賃上げに真摯に向き合っていない

### 春闘最後まで粘ろう 第3回書記長会議

山形県医労連の上田潤書記長は、4月8日(土)に二二次団交を設定し、7単組が団交を行い、翌日に宣伝行動を行ったと述べました。岡山県医労連花田真人書記長は、単組の力量が明確に表れたと述べ、単組の組織体制が不十分などところはたかききれていない傾向だと報告しました。

**決意表明**  
東京医労連の青山光書記長は、5月もたたかき続ける意思統一をすすめており、6月



介護プラカードでアピール(愛知)

**介護**  
介護アクションの取り組みの様子を一部ご紹介いたします。

北海道医労連は、介護に笑顔顔を！北海道連絡会とともに、「介護ウェーブチカホ宣伝」を実施しました。労使合わせて44人が参加し、署名を312筆集約しました。参加者からは、幅広い世代が署名に応じてくれたことから、「介護に対する関心が高まっている」と感想を述べていました。

愛知県医労連は、自治労連愛知県本部や愛知民医連とともに愛知社協の後援も受け、「春のドクター・ナース・介護ウェーブ」を開催しました。行動には、昨年を上回る14組織47人が参加し、集会・パレード・署名宣伝行動を行いました。

和歌山県医労連では、医師・看護師・介護職員の増員をアピールする「スリーウェー



メッセジタペストリーとともに(和歌山)

4日は午前中のストと新宿での宣伝行動を計画し、粘り強いたたかきを内外にアピールすると述べました。石川県医労連の嵯峨猛書記長は、富山民医労が1万5千円を回避基準に5月14日に団交し、翌日は早朝1時間のストを構え、ブロックで支援に入ることを報告。全労災、千葉県医労連、徳島県医労連からも決意表明がされました。最後に坂田政春中央副委員長は、安心して長く働き続けるためにはベアにこだわら、またベアを実現する役割が労働組合にあると強調し、職場から運動を広げようと訴えました。

**脈路**  
熊本地震から10年。当時、被災地への医療支援に向かおうとする現場から「これ以上看護スタッフを派遣すれば職場が崩壊する」と悲痛な声が上がった。エース級を送り出せば残された職員が燃え尽きて退職してしまう過酷な現実。結果、同地震では直接死の4倍を超える221人が災害関連死で命を落とした。▼能登半島地震でも関連死は直接死の2倍に達し、医療体制の崩壊が失わずに済んだ命を奪う実態が浮き彫りとなっている。これらは平時から続く深刻な人員不足がもたらした「医療災害」に他ならない。▼今年2月、徳島県は南海トラフ巨大地震の被害予測を発表したが、災害関連死予測は9・2%と余りに楽観的過ぎる。平時でさえ余力のない今の地方の医療体制で、本当に命を守りきれれるのだろうか。現在の災害医療は段階的な分相型へと変わったが、受け皿となる地元自治体のマンパワーがなければ関連死の多発は防ぎようがない。▼だからこそ、平時からの人員不足を抜本的に改善するとともに、大規模災害時に数カ月から年単位で人材を派遣・支援する「国の制度創設」が不可欠だ。困難な当事者が泣き寝入りせぬよう、私たちは現場の苦しみを受け止め、あきらめず行動する原動力を共に生み出していかねばならない。確実な賃上げと増員を勝ち取るため、更なる組合員の団結を掲げる対話を進めよう。

# "憲法守れ"

## 5・3憲法集会 5万人集結



東京集会の様子

日本国憲法施行から79年となる憲法記念日の5月3日、憲法を守り生かそうという行動が全国各地で取り組まれました。

東京・有明防災公園で開かれた「2026憲法大集会」には、例年を大きく上回る約5万人が参加。

実行委員会を代表して、憲法共同センターの秋山正臣共同代表は「改憲許さないの声を地域、職場からあげていこう。特に『9条改憲を許さない』の一点で共を強めるとともに、同じ考えを持つ議員と連携して改憲を阻止して『う』とあいさつしました。

ノンフィクション作家の吉岡忍さんは、今強められている中央集権的な国づくりと排外主義はやがて戦争に向かうと指摘し、「国家、国家」という掛け声に興奮しない、乗らない。国家から自分を切り離す足場となるのが日本国憲法だ。主権在民、平和主義、基本的人権の尊重を定め、社会を動かす大きな足場を与えている」と激励しました。

暴力や性被害に遭った少女たちの支援を行う、仁藤夢乃さん(一般社団法人)

集会では、立憲民主党、日本共産党、れいわ新選組、社民党、沖縄の風の国會議員があいさつ。中道改革連合がメッセージを寄せました。

集会終了後は、豊洲コースと台場コースに分かれてパレードを行いました。



Colabo代表は「日本は戦時中、アジアや沖縄で女性たちを慰安婦にし、性奴隷にした。戦後女性を米占領軍兵士の暴力からの防波堤として利用した。戦争と性搾取は表裏一体。人の体を支配し消費する」と述べ、恐れず対話を重ね、戦争させない社会をつくらねば、と呼び掛けました。

なくそう核兵器 国民平和大行進



出発地点での集合写真

核兵器廃絶と被爆者擁護を訴え、全国から被爆地広島をめざして歩く2026年原水爆禁止国民平和大行進が、はじまりました。

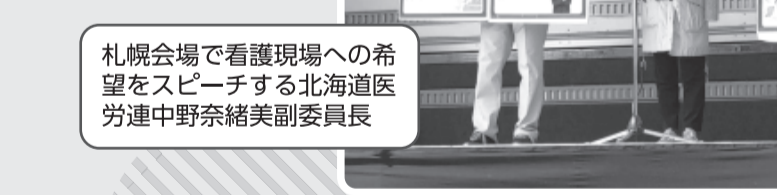
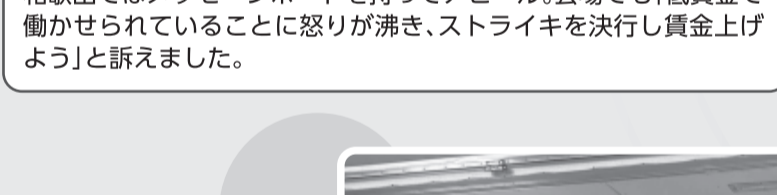
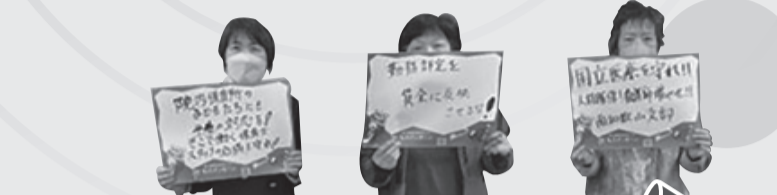
東京・江東区の夢の島で行われた出発集会には、600人が参加。原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表の高草木博さんは開会あいさつで「共同を広げ、協力し、非核三原則を守り、禁止条約に参加する日本を実現しよう」と呼びかけました。日本医労連からも全医労、全厚労、全日赤、全労災、東京医労連から約20人が参加。1日目のゴールをめざして「核兵器なくそう」「平和を守ろう」と沿道にアピールしながら、元気に進みました。



平和行進パレードの様子



石川では戦争法反対の時に作った従軍看護師の白衣を着て「戦争反対」を訴え。

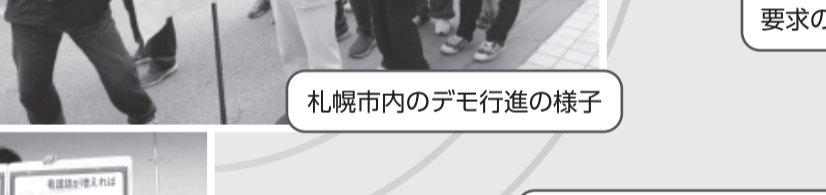


大幅賃上げを求め全国各地でストライキを構えてたかう26春闘のなか、憲法9条改憲阻止や労働基準法の改悪反対、労働者の大幅賃上げを訴えて第97回メーデーが開かれました。全国的に雨や曇りなどすっきりしない1日でしたが、全国240カ所以上の会場で大勢集まり、集会での発言やデモ行進で世論に訴えました。

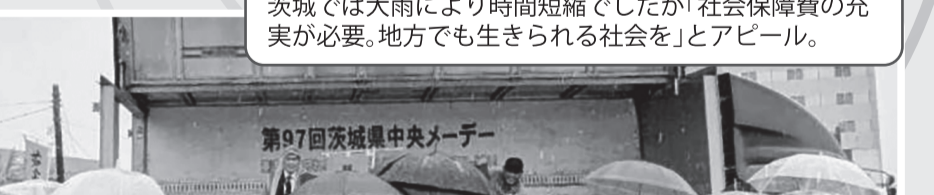
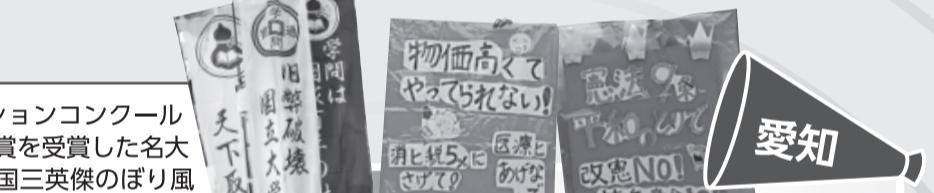
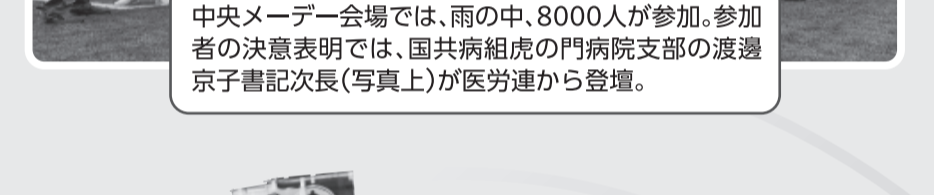
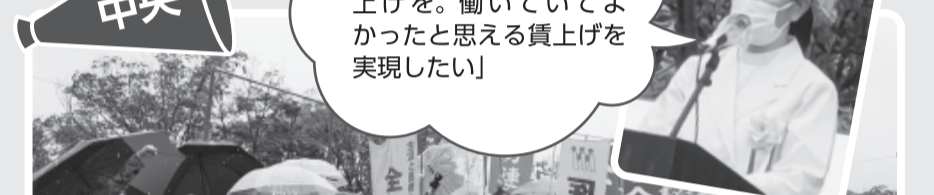
# 声をあげよう MAY DAY



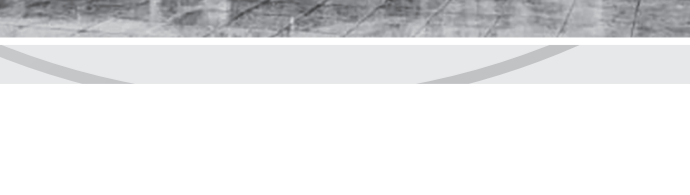
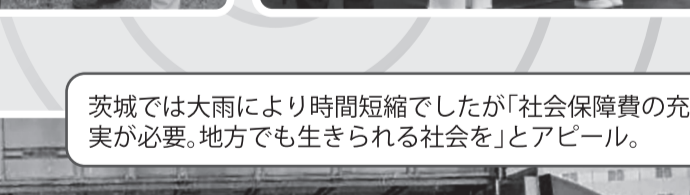
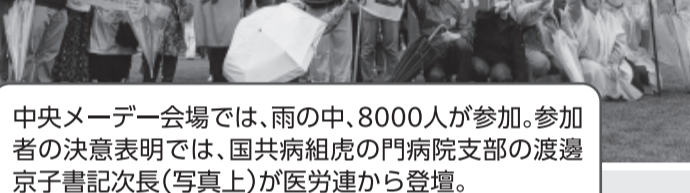
釧路会場では雨天のため屋内で開催



北海道



中央



「ケア労働者にも大幅賃上げを。働いていてよかったと思える賃上げを実現したい」

中央メーデー会場では、雨の中、8000人が参加。参加者の決意表明では、国共病組虎の門病院支部の渡邊京子書記次長(写真上)が医労連から登壇。

愛知



デコレーションコンクールで、最優秀賞を受賞した名大職組の「戦国三英傑のぼり風要求のぼり」

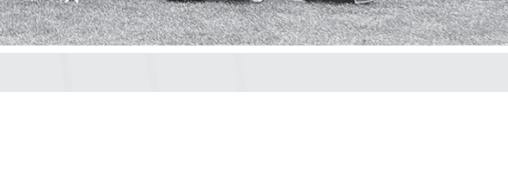
愛知では大雨の中、県内6会場で1,800名が参加。南医療生協の原真理子執行委員は「他産業の賃上げが進む中、医療や介護との格差は埋まりません。一つ一つの判断が命に関わり、責任が重大。専門職にふさわしい、やりがいを持って働ける賃金」と発言。小雨の降る中、署名にも取り組みました。

茨城



茨城では大雨により時間短縮でしたが「社会保障費の充実が必要。地方でも生きられる社会を」とアピール。

福岡



地域メーデーに参加した福岡医療団の皆さん

